

元気企業
訪問

手づくりパン工房
こうめや

コウノトリ育む農法で 栽培した米を使用 地元・養父の農産物使い 販路を広げる

Iターンで養父に移住

但馬エリア随一の集客力を誇る朝来市の施設、道の駅「但馬のまほろば」が10月16日にリニューアルオープンしました。拡充されたパン売場の目立つ所に、こうめやのパンが陳列されています。中でも人気を誇るのが、国産小麦を100%使った生地の中に炊飯米が混ぜ込まれている「こめっとパン」です。香ばしい風味と弾力のある歯応えが特徴で、「毎朝食べたくなるようなパンに」という、代表の大封香代子さんの思いが込められています。購入した人が「おいしかったのでぜひ送ってほしい」と、インターネット通販の

ピート客になることも多いそうです。

愛知県出身の大封さんが兵庫県に転居したのは20年前。帯広畜産大学で知り合った夫が獣医として養父市に赴任したからでした。「夫はもともと和牛の繁殖農家になりたいという目標があり、但馬牛の産地である養父で働くことを選びました。私自身も田舎で自給自足に近い生活をしたいという思いを持っていました」。趣味で作っていたパン作りの話を商工会の人としていたうちに、「女性創業者向けの助成金があるのでぜひやってみたら」との言葉に後押しされ、12年前にこうめやを創業しました。

2010年、兵庫県が主宰する「ひょうご農業MBA塾」の1期生として、事業を成長させるための勉強にあらためて取り組むことに。事業計画書をまとめるに当たり、同じ但馬エリアから塾に参加していた米の生産農家である有限会社高本農場の高本知宜さんと新しいパンの開発を考案。それが炊飯米を混ぜた「こめっとパン」です。

「米粉のパンでは小麦グルテンを混ぜなければならず味がどうしても落ちてしまう。調べるうちに炊いたお米を混ぜる方法を知りまし

た。加工用途に合った米を栽培するのが得意な高本さんの協力のもと、もち米や加工用米などさまざまな米で試作をした結果、食べておいしい米がパンに混ぜてもおいしいことが分かり、コウノトリ育む農法で栽培したお米を使うことにしました」

展示会で地元の旅館へ販路

商品化に当たり活用したのが、試作のための材料費や展示会の出展料の3分の2について助成金が得られる、ひょうご農商工連携ファンド事業助成金です。「アグリフードEXPO」に出展したところ、新たに豊岡市の旅館に朝のバイキングのメニューとして採用してもらえることになりました。

「農家と連携したことでメディアに何度も取り上げていただき、多くの方にこうめやを認知してもらうことができました」

こうめやは創業以来店舗を持つことはせず、製造に専念しています。現在は、道の駅をはじめとする直売所のほかに、宿泊施設や飲食店、福祉施設などにも販路が広がり、インターネット通販の売り上げも着実に増えつつあります。国産小麦100%へのこだわりとともに大切にしているのが地元の農産物や食材を使うこと。パンには但馬の特産であ



「アグリフードEXPO」に出展

る岩津ねぎや朝倉山椒も使っています。「農業特区に指定された養父市の農産物を今後も積極的に使っていきたい」との思いを持っています。

最近27歳の女性、28歳の男性を正社員として採用しました。安定的に生産体制を築くとともに、後継者を育てていきたいと考えています。「自分も

Iターンでこの町にやって来ました。若い人たちが養父で働けるように、少しでも貢献できれば」と新たな目標を掲げています。

会社概要
手づくりパン工房 こうめや

所在地 養父市建屋488
代表 大封香代子
事業内容 各種パンの製造・卸

TEL 079-666-0085
URL <http://koumeya.com/>

支援メニュー講座

ひょうご農商工連携ファンド事業助成金

中小企業者と農林漁業者が連携した、 新商品、新サービスの開発を応援します。

制度概要

県内の農林水産物などの地域資源を活かした、中小企業者と農林漁業者等の連携による新商品・新サービスの開発の取り組みについて支援を行っています。

この助成事業により、魅力ある農林漁業ビジネスや市場ニーズに適応した新商品の開発を実現し、事業者の収益拡大に貢献するとともに、地域経済の振興を図ります。

今回の募集から既に新商品開発に取り組んでいる事業も対象となりました。

メリット

- 商品開発に対して、500万円を限度とした助成金（助成率は、対象経費の3分の2以内）の交付が受けられます。（対象経費：原材料費、加工費、機械装置費、デザイン料、販路開拓費等）
- 中小企業者と農林漁業者が連携することで互いの強みを活かした商品開発が可能となり、新たなビジネスチャンスが広がります。
- 助成期間を最大2年間設けていますので、開発計画に合わせて事業期間を自由に設定できます。
- 助成を受けた事業については、兵庫県とひょうご産業活性化センターが共同してPRの取り組み支援も行います。

募集期間

2016年1月8日（金）まで

問い合わせは ひょうご産業活性化センター創業推進部新事業課 TEL 078-230-8110